

東証一部 6143

未来を創る

2015年3月期

決算説明会

2015年5月22日

Sodick
株式会社 ソディック

ポイント	3
I. 2015年3月期 決算概要	4
II. 2016年3月期 業績予想	16
III. 株主還元	21
IV. 中長期的戦略及び見通し	23
(参考資料)	26

2015年3月期実績

- ✓ 前期比売上高 + 10.9%で増収、営業利益、経常利益は当初予想を上回り、+84.5%、+45.3%の大幅増益。
- ✓ 純利益については、前期純利益に計上されていた税効果の剥落により、前期比15.4%減だが、順当な結果。
- ✓ 期初に消費税増税駆け込みの反動がみられたが、下半期より需要は回復基調、売上の増加とともに利益率も向上した。

2016年3月期見通し

- ✓ 国内、海外ともに、好調なマーケット環境により、企業の設備投資増、需要増加の見通し。
- ✓ 売上高は690億円へ、前期比 + 9.4%の増収を見込む。
- ✓ 一方、事業拡大に向けた研究開発費の増加等により、営業利益は前期比微増の4.3%増。

中長期的成長戦略

- ✓ 産業機械事業、食品機械事業のグローバル展開の推進、金属3Dプリンタ市場の創出および既存事業拡大により、事業ポートフォリオの更なる成長と安定化を図る。
- ✓ 2018年3月期までに売上高800億円超を展望。

I . 2015年3月期 決算概要



業績ハイライト

- ✓ 2015年3月期は前期比+10.9%の増収。
- ✓ 利益面では、営業利益、経常利益がそれぞれ+84.5%、+45.3%で大幅増。
- ✓ 純利益は、前期純利益に計上されていた税効果の剥落により、前期比15.4%減だが、順当な結果。

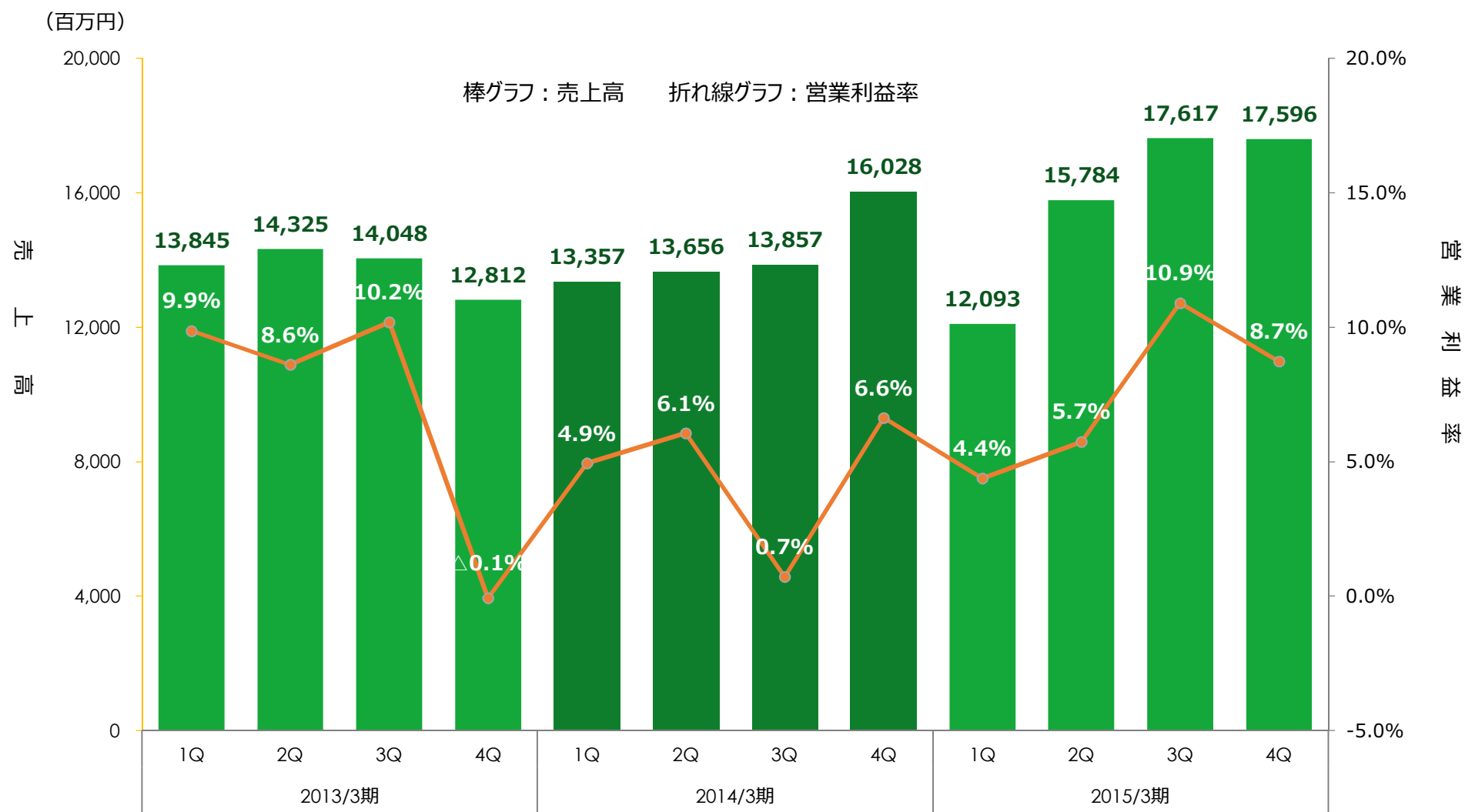
(百万円)

	2014年3月期		2015年3月期		前期比		2015年3月期 当初予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	増減率	
売上高	56,899	-	63,090	-	6,190	10.9%	61,500
売上総利益	16,667	29.3%	20,876	33.1%	4,209	25.3%	-
営業利益	2,651	4.7%	4,891	7.8%	2,240	84.5%	3,900
経常利益	3,886	6.8%	5,647	9.0%	1,761	45.3%	3,500
当期純利益	4,194	7.4%	3,550	5.6%	△644	△15.4%	2,600
包括利益	7,541		7,763				
ROE	10.7%		7.7%				
期中平均 為替レート	ドル ユーロ 人民元 バーツ	100.17 円 134.21 円 15.87 円 3.19 円		109.76円 138.69円 17.14円 3.38円			102.00 円 140.00 円 16.80 円 3.13 円

※参考情報 2015年3月期末 為替レート ドル：120.17円 ユーロ：130.32円 人民元：19.35円 バーツ：3.70円
2014年3月期末 為替レート ドル：102.92円 ユーロ：141.65円 人民元：17.36円 バーツ：3.17円

売上高・営業利益率推移（四半期毎）

- ✓ 2015年3月期売上高は1Qは国内消費増税駆け込み需要の反動の影響で前年同期比減となったが、2Q以降は全ての四半期決算で増加。営業利益率も回復傾向。



経常利益増減要因（実績）

- ✓ 人件費、研究開発費、広告宣伝費等の営業費用の増加、為替差益の減少が見られたものの、売上総利益の増加により、経常利益17億61百万円増加。



セグメント別業績

(百万円)

		2014年3月期	2015年3月期	前年同期比	
		実績	実績	(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	40,836	46,783	5,947	14.6%
	● 産業機械事業	8,444	8,189	△ 255	△ 3.0%
	● 食品機械事業	3,537	2,790	△ 747	△ 21.1%
	● その他事業	4,080	5,326	1,246	30.5%
		56,899	63,090	6,190	10.9%
セグメント利益	● 工作機械事業	3,436	6,795	3,359	97.8%
	● 産業機械事業	771	20	△ 751	△ 97.4%
	● 食品機械事業	155	121	△ 34	△ 21.9%
	● その他事業	134	455	321	239.6%
		4,498	7,393	2,895	64.4%
調整額・消却額等		△ 1,846	△ 2,501	△ 655	-
営業利益 合計		2,651	4,891	2,240	84.5%

工作機械事業

- ✓ 国内は期初に消費税増税駆け込みの反動みられたが、政府の補助金等の影響で、需要は回復基調
- ✓ 海外でも、自動車、航空機、医療機器、スマートフォン関連からの需要堅調。

産業機械事業

- ✓ 国内、海外ともに自動車、スマートフォン関連の需要が堅調であるものの、初期生産コスト高およびアジア圏などでの低価格機種の販売増加により利益率が低下。

食品機械事業

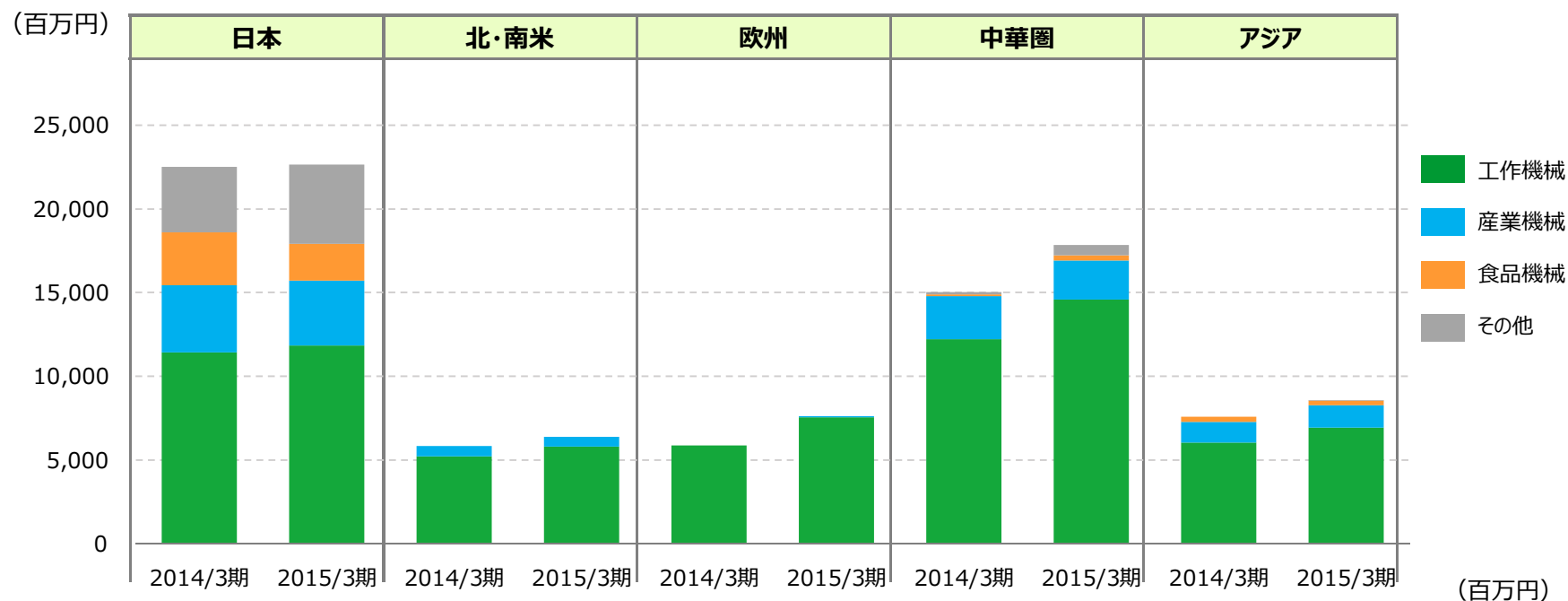
- ✓ 麺の品質向上を目指すスーパー、コンビニエンスストアからの需要が拡大しつつある。
- ✓ 一部大型案件の納期延期により売上減少。

その他事業

- ✓ リニアモータ、セラミックス部材の外販が好調

事業別海外売上高比率

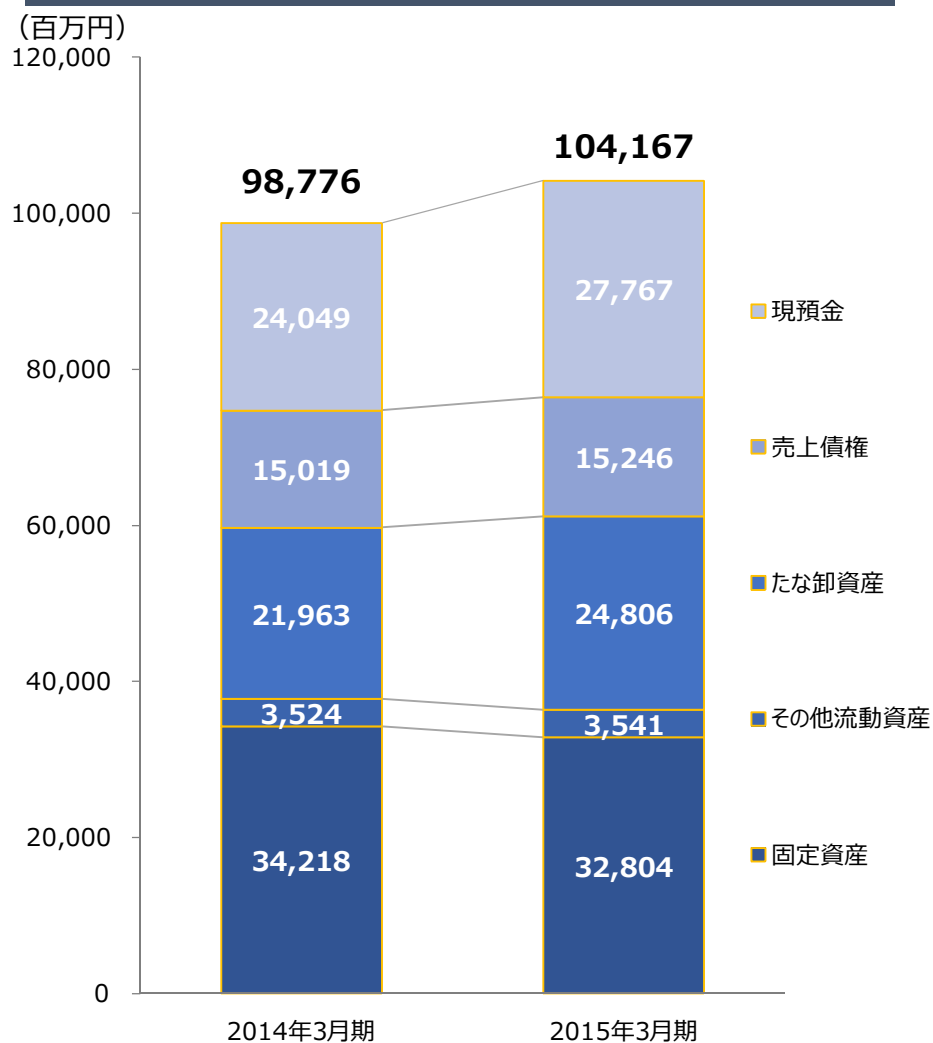
✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は64.1%となり、前期より更に拡大。



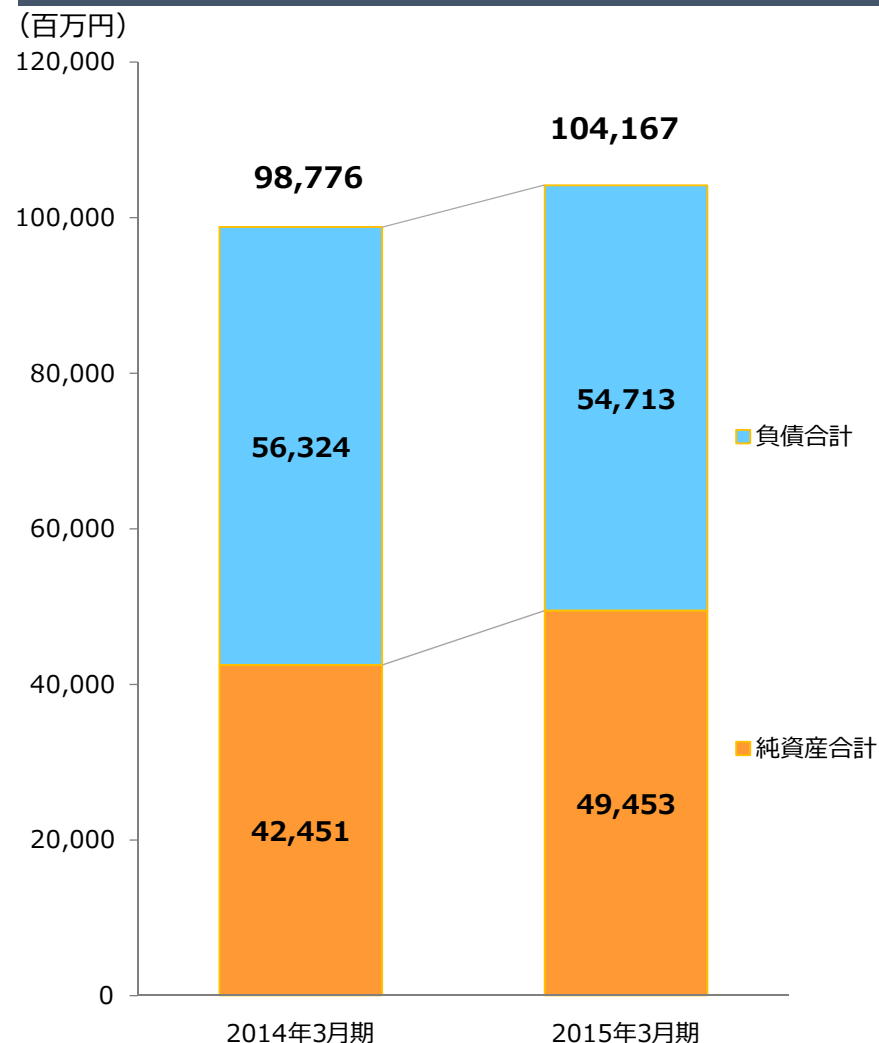
2014年3月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計
工作機械	11,424	28.0%	5,231	12.8%	5,893	14.4%	12,240	30.0%	6,046	14.8%	40,836
産業機械	4,011	47.5%	633	7.5%	0	0.0%	2,551	30.2%	1,247	14.8%	8,444
食品機械	3,147	89.0%	0	0.0%	0	0.0%	90	2.5%	300	8.5%	3,537
その他	3,935	96.5%	0	0.0%	0	0.0%	143	3.5%	0	0.0%	4,080
地域別計	22,519	39.6%	5,865	10.3%	5,893	10.4%	15,026	26.4%	7,594	13.3%	56,899

2015年3月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計
工作機械	11,848	25.3%	5,830	12.5%	7,555	16.1%	14,592	31.2%	6,956	14.9%	46,783
産業機械	3,880	47.4%	579	7.1%	77	0.9%	2,321	28.3%	1,331	16.3%	8,189
食品機械	2,202	79.0%	0	0.0%	0	0.0%	325	11.6%	263	9.4%	2,790
その他	4,704	88.3%	0	0.0%	0	0.0%	610	11.5%	12	0.2%	5,326
地域別計	22,635	35.9%	6,409	10.2%	7,632	12.1%	17,849	28.3%	8,563	13.6%	63,090

資産

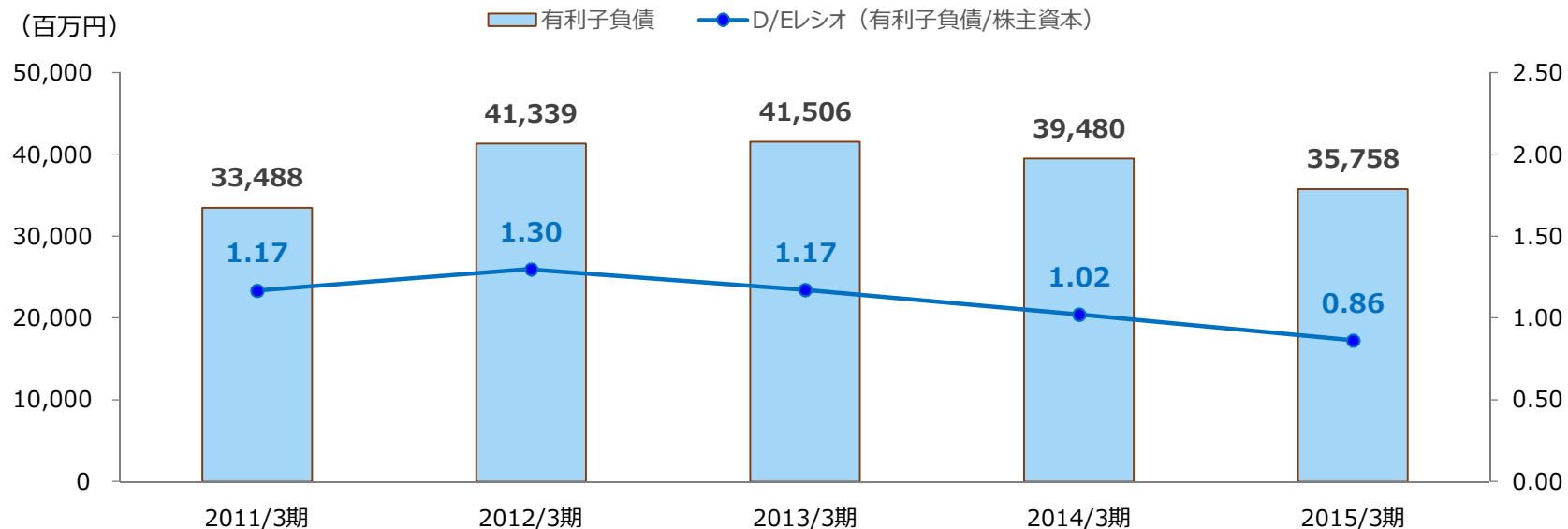


負債・純資産

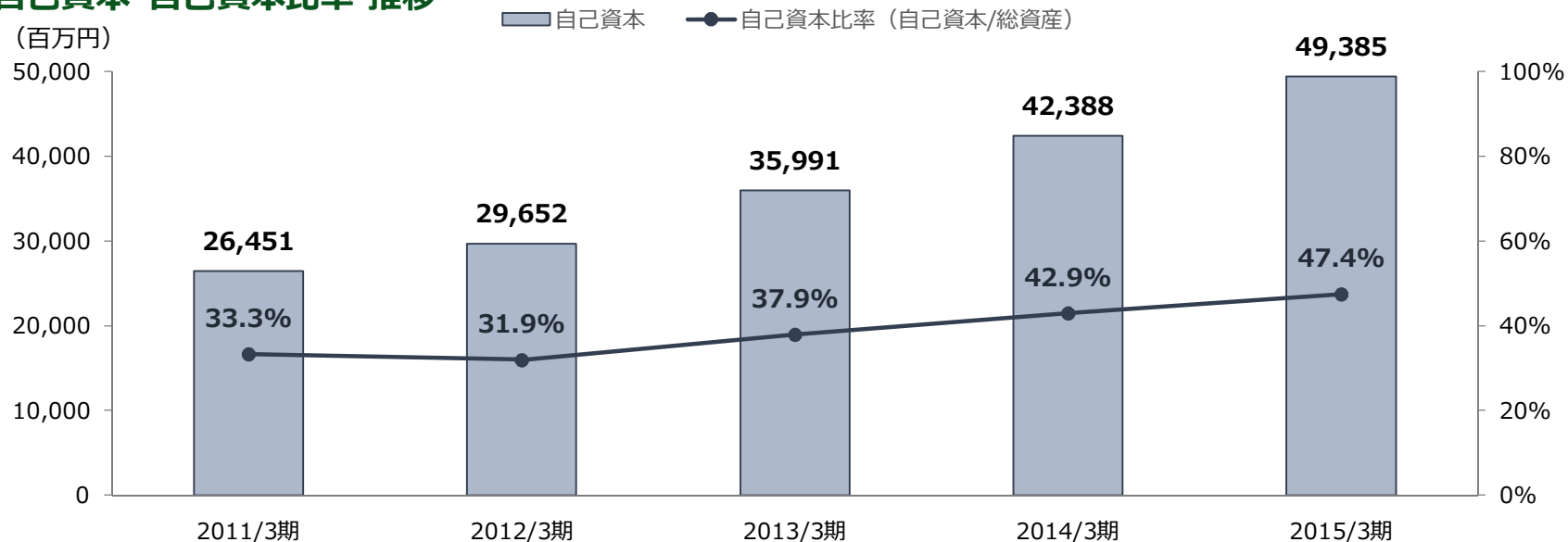


2015年3月期末 為替レート	ドル : 120.17円	ユーロ : 130.32円	人民元 : 19.35円	バーツ : 3.70円
2014年3月期末 為替レート	ドル : 102.92円	ユーロ : 141.65円	人民元 : 17.36円	バーツ : 3.17円

有利子負債・D/Eレシオ 推移



自己資本・自己資本比率 推移

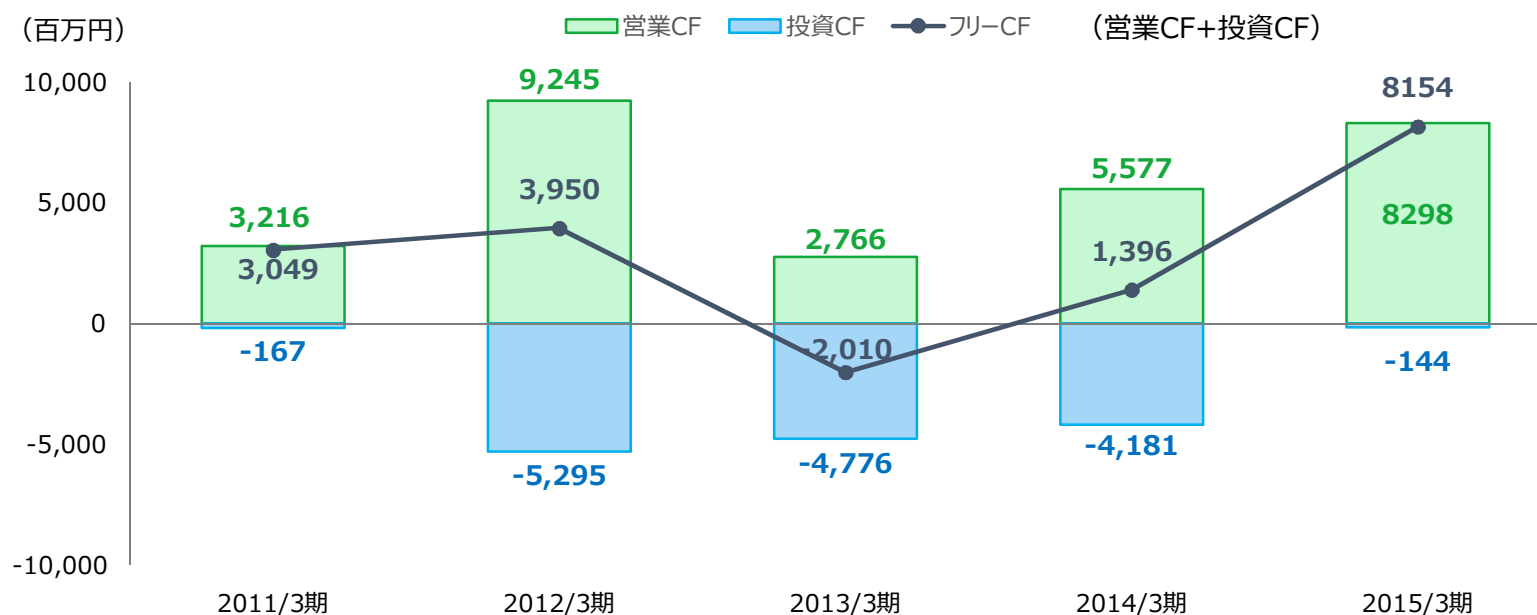


キャッシュ・フロー

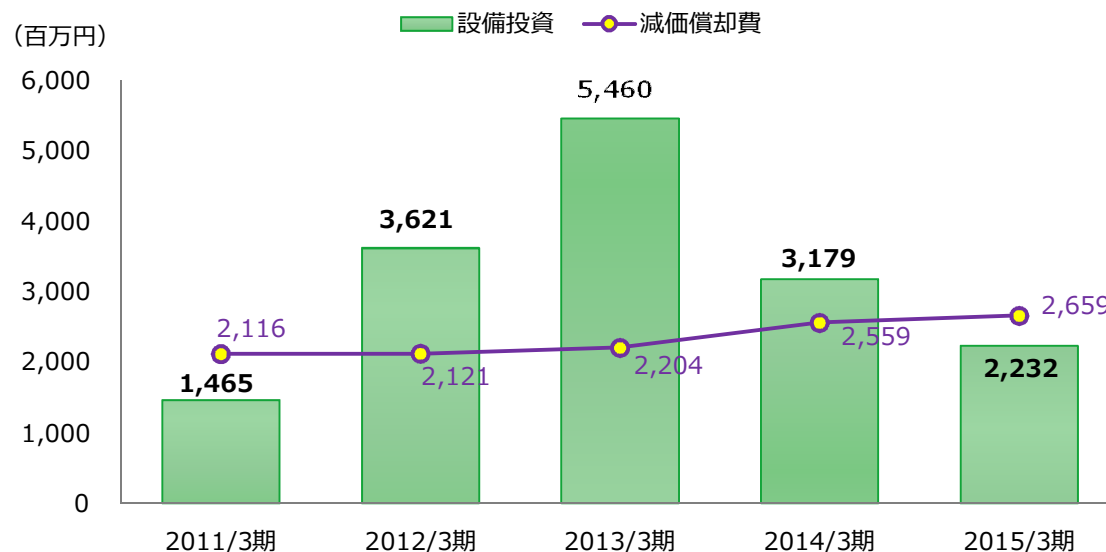
✓ 営業活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加したことにより、手元キャッシュが約37億円増加

(百万円)

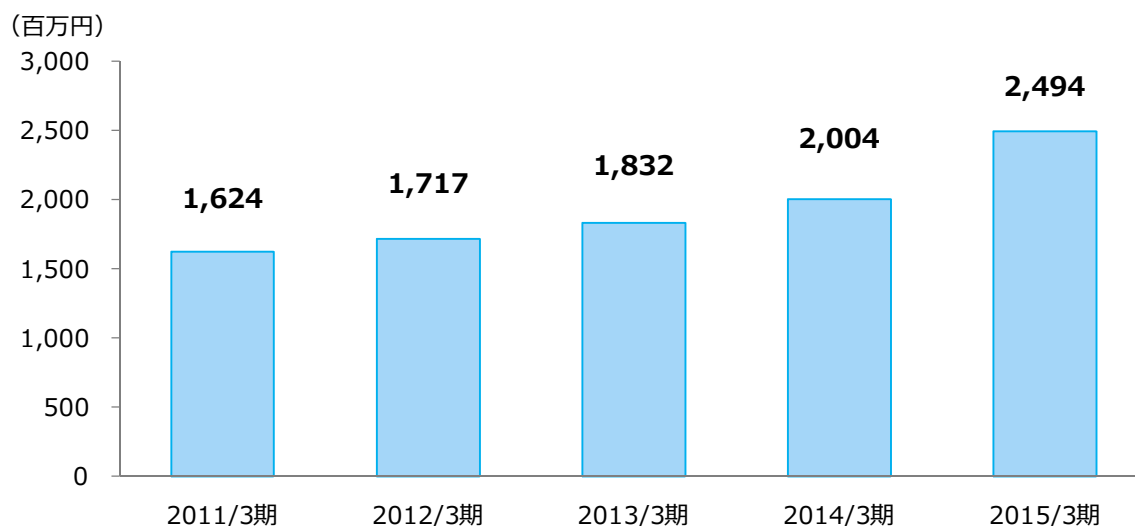
	2014年3月期	2015年3月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,577	8,298	税金等調整前当期純利益の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,181	△144	有形・無形固定資産の取得による支出 約20億円 投資有価証券満期による収入 約10億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,696	△5,243	長期借入金の約定返済
現金及び現金同等物の期末残高	23,647	27,396	



設備投資／減価償却費の推移



研究開発費の推移



▶ 主な設備投資について






- ✓ ソフトウェアへの設備投資（E R P等）に約3億円
- ✓ 宮崎工場への設備投資に約2億1千万円
- ✓ タイ工場の機械設備投資に約1億5千万円

▶ 減価償却費について

- ✓ 2014/3期 加賀工場、タイ工場への設備投資、およびソフトウェア（E R P）の減価償却費の増加。

▶ 研究開発費について

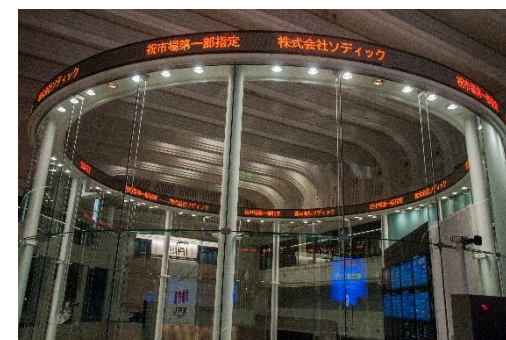
- ✓ 金属3Dプリンタ関連、射出成形機の研究開発費の増加等により約4億円の増加。

セグメント	工作機械	工作機械	産業機械	産業機械	食品機械
製品名	金属3Dプリンタ 「OPM250L」 	高品位 マシニングセンタ 「UH430L」 	射出成形機 「HSPシリーズ」 	射出成形機 「GLシリーズ」 	真空押出機 「EX-500」 
販売市場	精密・電子・電気機器、自動車、航空機市場	スマートフォンやタブレット端末器、先端医療機器市場	スマートフォン、ミニタブレットなどの液晶バックライト用薄肉導光板	精密・電子・光学・医療機器などの高付加価値品成形市場	調理麺、パスタ、薬剤、ペットフードなど
製品概要	金属粉末にレーザー光をスキャンすることにより熔融凝固した後、回転工具でミーリングによる仕上げ加工が行える金属3Dプリンタ。三次元冷却配管を備えた高付加価値の金型をワンプロセスで製造でき、お客様の生産性向上を実現。	ヘッド部への新素材CFRPの採用やスピンドルのトルクアップにより、さらに微細で高速な加工の需要に対応。	高速型締コンプレッション装置を併用し、業界初のパネルサイズ：6.0inch、厚み：0.25mmの高精度・高品質な超薄肉導光板成形を実現。	トータルサーボドライブシステム（※）の開発によるさらなる省エネと型締力の安定性の向上、トレサビリティ機能の強化、ユーザビリティの向上により、幅広い分野における高付加価値製品の開発・製造が可能。	食通好みの調理麺をターゲットに、より高い真空機能、温度調節機能及び高密度化機構を備えた装置。麺の歯ごたえや食感の向上による高品質な麺の製造が実現。

※トータルサーボドライブシステム：射出工程のリニアサーボ駆動、型開閉工程及び突出工程の電動サーボモータ直動駆動に加え、さらに型締め工程及び可塑化工程の電動サーボモータによるポンプ駆動化を実現した当社独自のシステム

1 東証一部に上場

- 1976年8月 創業
 - 1986年2月 東証二部上場
 - 80年代後半以降、海外需要の拡大からグローバルな生産・販売体制を構築
 - 2015年3月31日 東証一部上場
- ※上場記念配当実施 (→詳細は22ページ)



2 金属3Dプリンタ「OPM250L」販売開始



特徴と強み

- ワンプロセス・ミーリング
- 射出サイクル30%短縮
- 工程数の大幅削減
- 造形時間の短縮
- 納期短縮
- 組み上げでの製造による品質安定
- 複雑な形状を高精度に製造可能



日刊工業新聞社主催
十大新製品賞「本賞」受賞



3 加賀事業所の拡張を決定

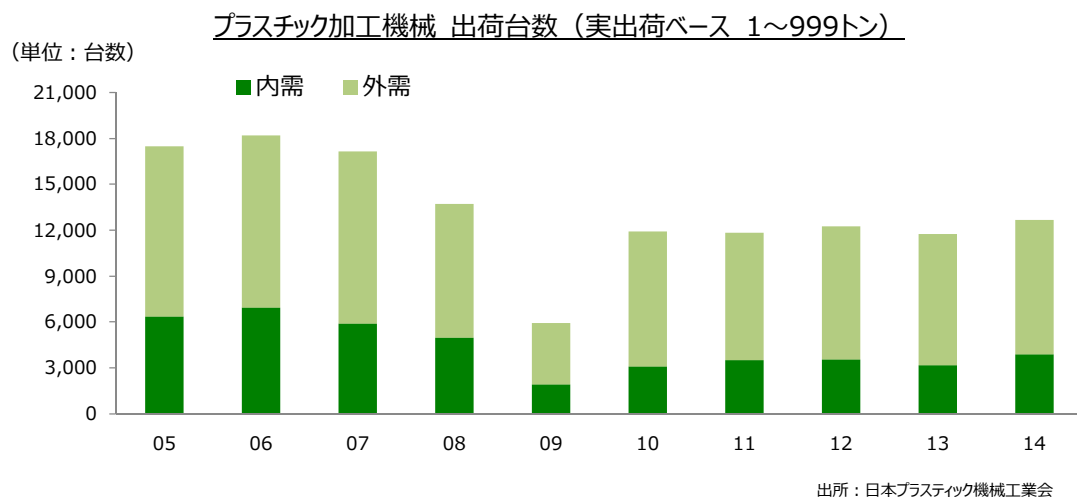
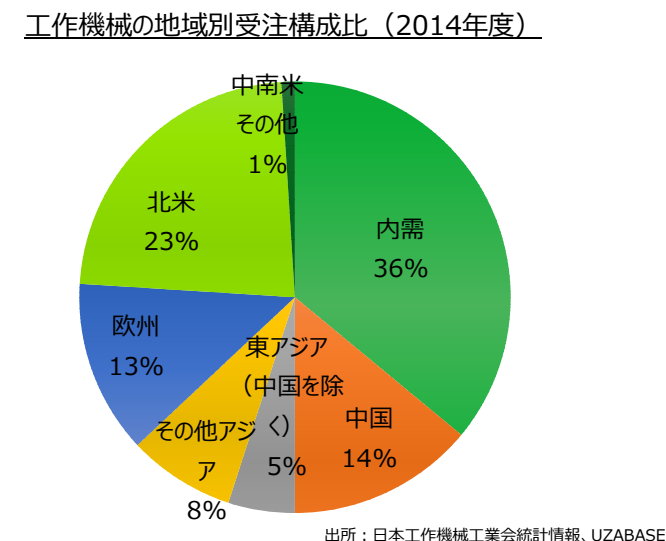
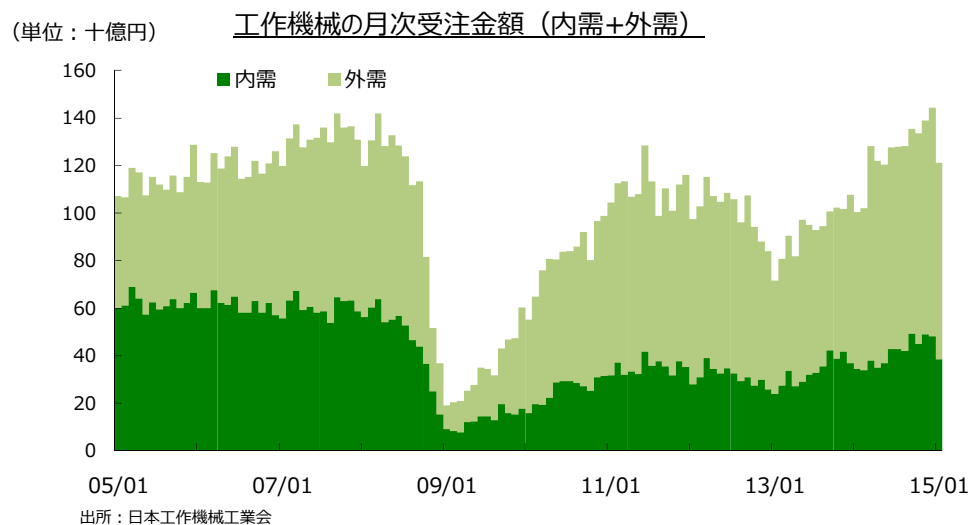
射出成形機の国内主力工場である加賀事業所に、新たに開発した金属3Dプリンタ機をはじめ、工作機械（放電加工機・マシニングセンタ）及び食品機械の生産工場を増設することを決定。

→国内生産の主要工場へ

Ⅱ. 2016年3月期 業績予想



- 国内：円安進行で企業の業績が改善し、先延ばししていた設備更新へ向かうなど、**国内需要回復**傾向。今後の見通しは円安進行に伴い国内生産回帰を検討する動きもあり**設備投資は増加**する見通し。
- 海外：**好調維持**。アジアではスマートフォン生産拡大、北米では航空機や自動車関連メーカーが設備増強。今後の見通しはウクライナ問題を受けて欧州向けの受注が落ち込む懸念があるものの、**北米・中国では、自動車関連の需要が堅調に推移**する見通し。



2016年3月期 業績予想

- ✓ 2016年3月期の業績予想は、売上高が690億達成、前期比+9.4%の増収を見込む。
- ✓ 営業利益については、事業拡大に向けた研究開発費の増加等により、微増を見込む。

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		前期比	
	実績	利益率	予想	利益率	金額	増減率
売上高	63,090	-	69,000	-	5,910	9.4%
営業利益	4,891	7.8%	5,100	7.4%	209	4.3%
経常利益	5,647	9.0%	4,700	6.8%	△947	△16.8%
当期純利益	3,550	5.6%	3,200	4.6%	△350	△9.9%
包括利益	7,763					
ROE	7.7%					
期中平均 為替レート	ドル ユーロ 人民元 バーツ	109.76円 138.69円 17.14円 3.38円		119.27円 133.65円 19.01円 3.69円		

セグメント別予想

(百万円)

		2015年3月期	2016年3月期	前年同期比	
		実績	予想	(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	46,783	49,230	2,446	5.2%
	● 産業機械事業	8,189	10,600	2,410	29.4%
	● 食品機械事業	2,790	3,600	809	29.0%
	● その他事業	5,326	5,570	243	4.6%
		63,090	69,000	5,909	9.4%
セグメント利益	● 工作機械事業	6,795	6,070	△ 725	△10.7%
	● 産業機械事業	20	700	679	3344.6%
	● 食品機械事業	121	220	98	80.4%
	● その他事業	455	410	△ 45	△9.9%
		7,393	7,400	6	0.1%
調整額・消却額等		△ 2,501	△ 2,300	201	-
営業利益 合計		4,891	5,100	208	4.3%

工作機械事業

- ✓ 金属3Dプリンタの売上増加が寄与し増収を見込んでいるものの、事業拡大に向けた研究開発費の増加等により営業利益は減少を見込む。

産業機械事業

- ✓ 射出成形機の海外向けの販売増加により、増収増益を見込む。

食品機械事業

- ✓ 2015年3月期に期ズレした大口案件が計上されることから増収増益を見込む。

その他事業

- ✓ 要素技術関連の研究開発費の増加等により営業利益は減少を見込む。

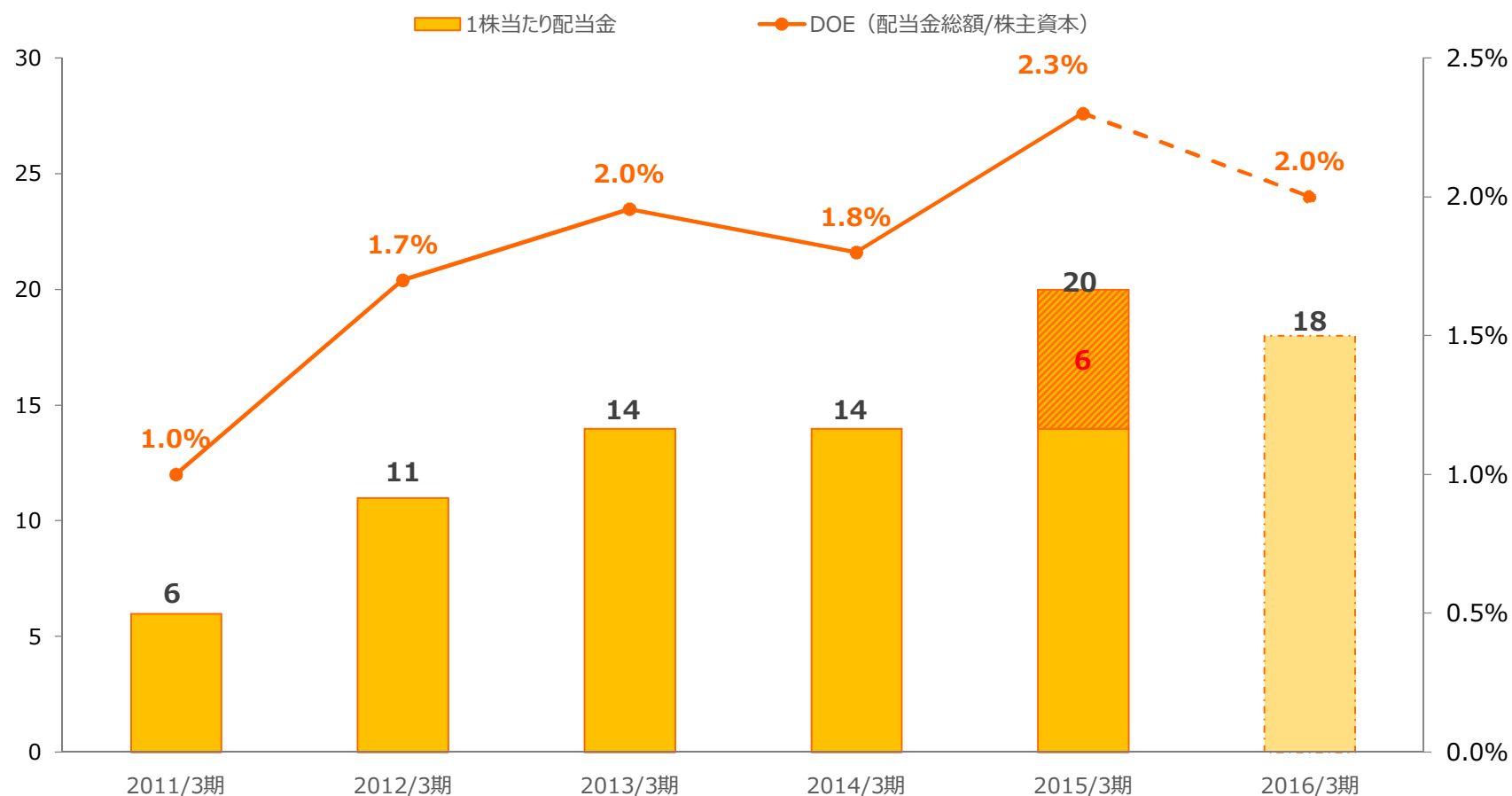
✓ 2016年3月期の各項目に関する予想については、以下の通り。

設備投資	<p>設備投資は約27億円（前期比+5億円）を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none">・加賀工場の設備増設・基礎研究設備
減価償却費	<p>減価償却費は昨年並みを見込む。</p> <ul style="list-style-type: none">・前期 のれん代を減損処理したことにより無形固定資産の償却費は一部減少を見込む。・設備投資の増加に伴う減価償却費の増加
研究開発費	<p>研究開発費は約29億円（前期比+5億円）を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none">・金属3Dプリンタ関連の研究開発・マシニングセンタ及び要素技術関連の研究開発

Ⅲ. 株主還元

株主還元方針及び配当予想

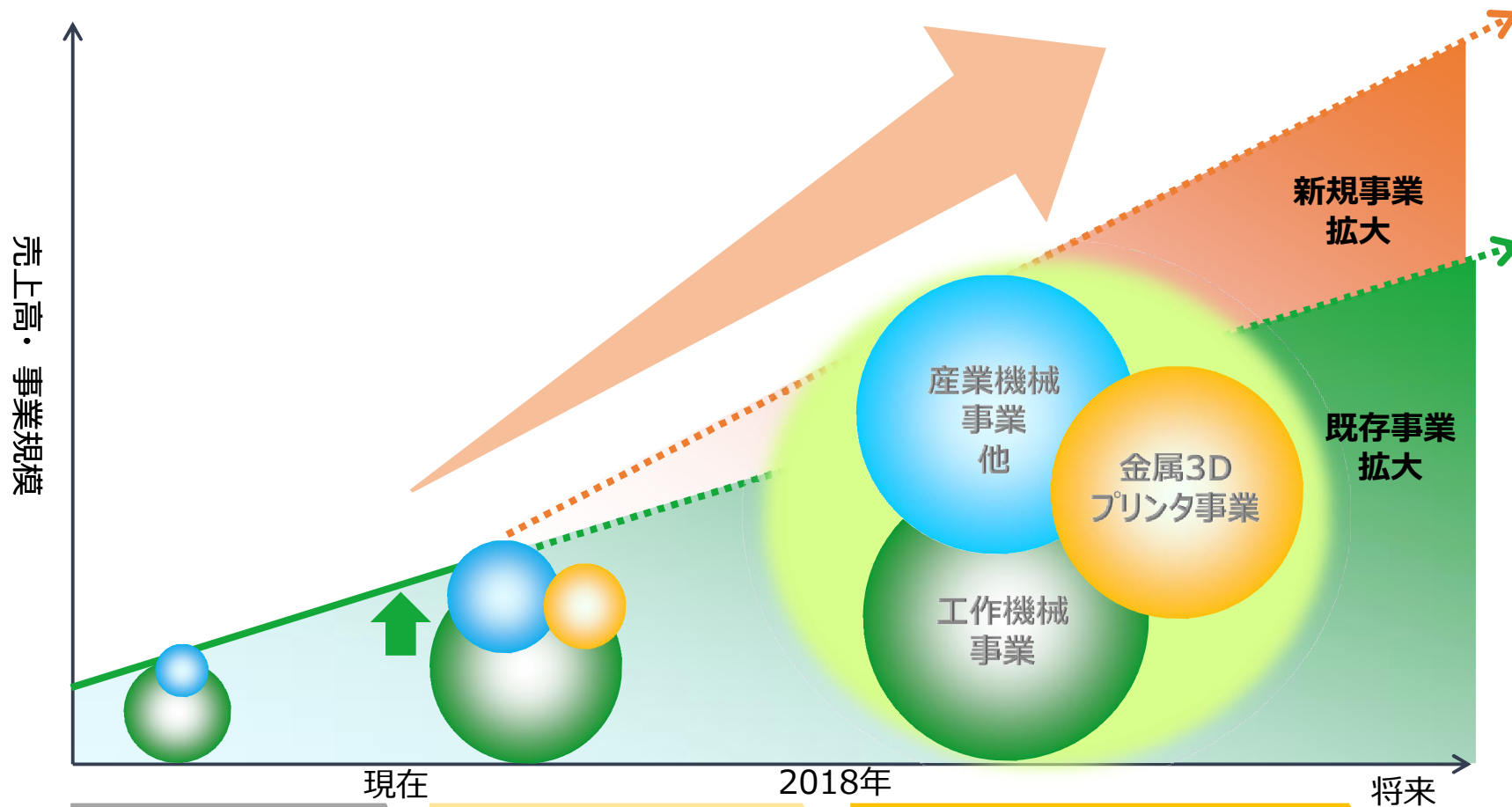
- ✓ 配当方針として株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 当期は、東証一部指定記念配当を実施、1株当たり+6円を配当。
- ✓ 2016年3月期の年間配当金は18円を予定。



IV. 中長期的戦略及び見通し



金属3Dプリンタのリリース、一部上場を経て、新たなフェーズへ。
 既存事業の拡大とともに、金属3Dプリンタの本格的収益化を図る。

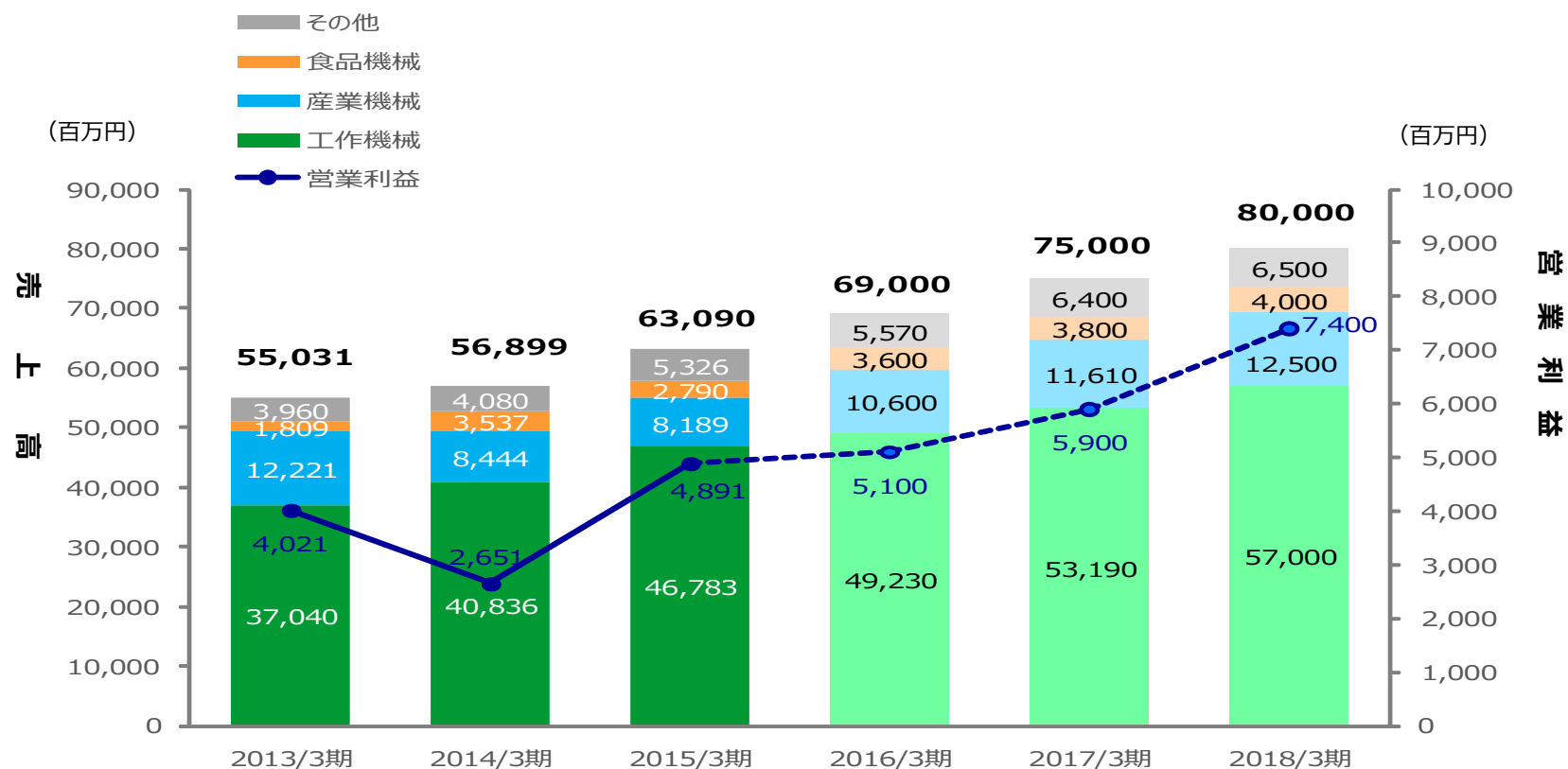


- フェーズ1**
- 工作機械事業を主軸に、産業機械事業など他の事業領域にも進出
 - 海外への拡大

- フェーズ2**
- 金属3Dプリンタ事業立ち上げ
 - 既存事業の更なる拡大

- フェーズ3**
- 放電加工機を中心に、射出成形機、金属3Dプリンタの3セグメントを相乗的に拡大

2018年3月期までに、売上高800億、営業利益74億を展望。



実績 → 計画

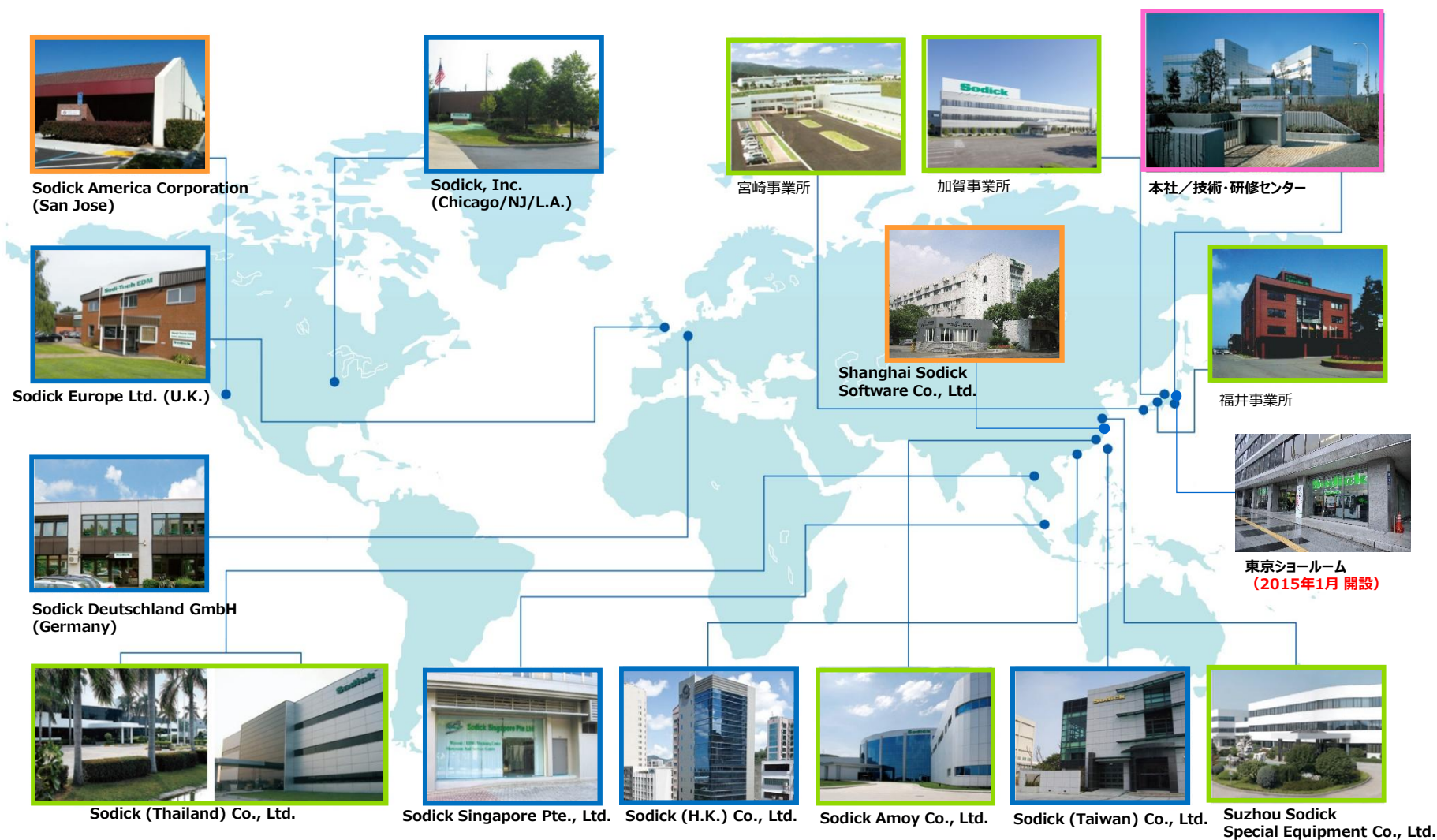
- ✓ コアテクノロジーの内製化
- ✓ 放電加工機技術の発展
- ✓ 製造拠点の海外移管による海外生産比率の拡大

- ✓ 金属3Dプリンタ事業の立ち上げ
- ✓ 産業機械事業、食品機械事業のグローバル展開の推進
- ✓ リプレイス需要等国内外の需要取り込み

(参考資料)



国内外の主要拠点



- 本社
- 生産拠点
- 開発拠点
- 販売・サービス拠点

主な展示会への出展情報

国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
5/12～14	米国	マサチューセッツ	EASTECH (Eastern States Exposition)	
5/18～23	ブラジル	サンパウロ	FEIMAFE 2015 (工作機械・総合生産システム国際見本市)	
5/20～23	中国	東莞	CHINAPLAS (中国国際プラスチック・ゴム工業見本市)	アジアNo.1、世界No.2のプラスチック関係の展示会
5/20～23	マレーシア	クアラルンプール	Metaltech2015	
5/25～28	中国	上海	DMC (Die & Mould China)	
6/9～12	日本	東京	F O O M A (国際食品工業展)	
6/10～13	インドネシア	スラバヤ	MachineTools&manufacturing Indonesia-Surabaya	
6/24～27	タイ	バンコク	InterMoldThailand	
7/7～10	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
8/5～8	インドネシア	ジャカルタ	MTT Jakarta (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
8/26～29	フィリピン	マニラ	PhilippineDie&MoldMachineTools	
8/27～29	ベトナム	ハノイ	VietnamManufacturingExpo 2015	
9/28～10/1	カナダ	トロント	CMTS2015 (The Canadian Manufacturing and Technology Show)	
10/5～10	イタリア	ミラノ	EMO (欧州国際工作機械見本市)	世界三大工作機械展示会
10/7～10	日本	名古屋	名古屋プラスチック展	
10/8～10	ベトナム	ホーチミン	METALEX VIETNAM (ベトナム国際工作機械・加工展)	
10/21～24	日本	名古屋	M E C T (メカトロテックジャパン)	
11/18～21	中国	東莞	東莞DMP2014 (東莞国際金型・金属加工展覧会)	
11/21～25	タイ	バンコク	Metalex (タイ国際工作機械・加工展)	
12/2～5	インドネシア	ジャカルタ	Machine Tools Indonesia	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835